

漢字と語彙

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 抽象的な語句を文脈に合わせて使う。

ポイント 似た意味の語でも使う場面が違います。意味と用例を確かめます。

(1) 「尊重」の読みを書きましょう。

答え

(3) 資料を(けんとう)する。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(5) 「改善」と「改良」のうち、問題点を直してよくする意味で広く使える語を選びましょう。

答え

(2) 「推測」の読みを書きましょう。

答え

(4) 考えの(こんきょ)を示す。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(6) 「視点」を使って二十五字以内の文を書きましょう。

答え

漢字と語彙 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 抽象的な語句を文脈に合わせて使う。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) そんなよう

相手の考えや立場を大切にすることです。

(2) すいそく

分かっていることから予想することです。

(3) 検討

よく調べて考えることです。

(4) 根拠

考えを支える理由や事実です。

(5) 改善

「改良」は主に物や仕組みを直す場合に使われます。

(6) 例：相手の視点から問題を考える。

物事を見る立場という意味で使えていれば正解です。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

熟語・四字熟語

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 熟語の構成と四字熟語の意味を理解する。

ポイント 漢字一字ずつの意味と、まとまり全体の意味を結び付けます。

(1) 「増減」はどんな意味の漢字の組み合わせですか。

答え

(3) 「読書」と同じ構成に近い熟語を「登山・高山」から選びましょう。

答え

(5) 「臨機応変」が合う場面を一つ書きましょう。

答え

(2) 「再開」の「再」はどんな意味を加えますか。

答え

(4) 「試行錯誤」の意味を書きましょう。

答え

(6) 「異口同音」が表す様子を書きましょう。

答え

熟語・四字熟語 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 熟語の構成と四字熟語の意味を理解する。

説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 反対の意味

増えることと減ることです。

(2) もう一度

いったん止めたことを再び始めます。

(3) 登山

「書を読む」「山に登る」という関係です。

(4) 試しと失敗を重ね、解決方法を探すこと

さまざまに試しながら進みます。

(5) 例: 急な予定変更に合わせて方法を変える。

その場の状況に応じる意味です。

(6) 多くの人が同じことを言う様子

口は違っても言う内容が同じという意味です。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉

まちがえた番号: _____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

敬語の使い分け

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 相手・目的・場面に応じて敬語を選ぶ。

ポイント だれの動作かを確認めて、尊敬語と謙譲語を使い分けます。

(1) 先生が見ることを尊敬語で言いましょう。

答え

(3) 来客に「ここで待ってください」を丁寧に伝えましょう。

答え

(5) 「校長先生が参ります。」の誤りを直しましょう。

答え

(2) 自分が資料を見ることを謙譲語で言いましょう。

答え

(4) 「私が先生におっしゃいます。」の誤りを直しましょう。

答え

(6) 同じ人に対しても場面で言葉遣いが変わる例を書きましょう。

答え

敬語の使い分け / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 相手・目的・場面に応じて敬語を選ぶ。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 先生がご覧になる。

相手の動作を高めます。

(2) 資料を拝見する。

自分側の動作を低く表します。

(3) こちらでお待ちください。

命令的にならない丁寧な表現です。

(4) 私が先生に申します。

自分の「言う」には謙譲語を使います。

(5) 校長先生がいらっしゃいます。

相手側の「来る」には尊敬語を使います。

(6) 例：友達でも式の司会では丁寧な言葉を使う。

公的な場面や役割に応じる例なら正解です。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉

まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

話し言葉と書き言葉

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 目的に合う言葉遣いへ直す。

ポイント 発表や会話では伝わりやすさ、報告文では正確さと簡潔さを重視します。

(1) 報告文の「すごたくさん集まりました」を書き言葉に直しましょう。

答え

(3) 会話で相手の理解を確かめる言葉を一つ書きましょう。

答え

(5) 「たぶん必ず成功する」の問題点を書きましょう。

答え

(2) 「だからさ、ぼくは反対。」を書き言葉に直しましょう。

答え

(4) 報告文で主語を何度も省くと、どんな問題が起きますか。

答え

(6) 相手に依頼するメールの件名として「お願い」と「図書委員会資料の確認のお願い」のどちらが適切ですか。

答え

話し言葉と書き言葉 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 目的に合う言葉遣いへ直す。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

- (1) 非常に多く集まりました。

程度を正確で落ち着いた言葉にします。
- (2) そのため、私は反対です。

話し言葉の終助詞などを改めます。

- (3) 例：ここまでで分かりましたか。

聞き手の反応を確かめる表現です。
- (4) だれの行動か分かりにくくなる

必要な主語を補います。

- (5) 「たぶん」と「必ず」が矛盾する

確かさの程度が一致していません。
- (6) 図書委員会資料の確認のお願い

用件が具体的に分かります。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉

まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

文語と古典

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 文語の響きと現代語との違いを味わう。

ポイント 繰り返し音読し、古い語の意味を前後から考えます。

(1) 「祇園精舎の鐘の声」で、耳で聞くものを書きましよう。

答え

(3) 「つはものどもが夢のあと」の「つはもの」は、現代の何を指しますか。

答え

(5) 古典を現代語訳だけでなく原文でも読むよさを書きましょう。

答え

(2) 「諸行無常」は、物事がどうであることを表しますか。

答え

(4) 「けり」が文末にあるとき、過去や気付きの意味を表すことがあります。現代語に直すとどんな言い方ですか。

答え

(6) 古典の意味が分からない語に出会ったときの読み方を書きましょう。

答え

文語と古典 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 文語の響きと現代語との違いを味わう。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 鐘の声

鐘の音を「声」と表しています。

(2) いつまでも同じではなく変化すること

あらゆるものが移り変わるという考えです。

(3) 武士たち

戦った人々を指す古い言葉です。

(4) ～た／～だったのだなあ

文脈により過去や詠嘆を表します。

(5) 例：当時の言葉のリズムや響きを感じられる。

原文ならではの表現に触れます。

(6) 注釈を見たり前後から意味を考えたりする

音読と意味の確認を組み合わせます。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

情報の関係と接続

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 主張・根拠・例・反論を整理する。

ポイント 文を役割ごとに分け、矢印や表で関係を見えるようにします。

(1) 「節電すべきだ。電気を作る資源には限りがあるからだ。」の主張を書きましょう。

答え

(3) 「例えば」が導く内容の役割を書きましょう。

答え

(5) 「AならばB」と「BならばA」はいつも同じ意味ですか。

答え

(2) 節電を求める主張の根拠を書きましょう。

答え

(4) 「確かに便利だ。しかし、費用もかかる。」の「しかし」が示す関係を書きましょう。

答え

(6) 複数の資料を引用するときに記録することを二つ書きましょう。

答え

情報の関係と接続 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 主張・根拠・例・反論を整理する。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 節電すべきだ

筆者が伝えたい考えです。

(2) 電気を作る資源には限りがあること

主張を支える理由です。

(3) 具体例

抽象的な説明を分かりやすくします。

(4) 逆接／反対の面

前の内容を受けて別の面を示します。

(5) 同じとは限らない

原因と結果の向きを逆にできない場合があります。

(6) 出典と、どの部分を使ったか

情報の確かさと引用範囲を示します。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

資料と意見文

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 資料を根拠に意見を書く。

ポイント 数値から言える事実と、自分の考えを区別します。

(1) アンケートで「賛成60人、反対40人」でした。資料から直接言える事実を書きましょう。

答え

(3) 意見文の初めに書くとよいものを一つ書きましょう。

答え

(5) 反対意見を取り上げるよさを書きましょう。

答え

(2) 同じ資料だけで「全校児童が賛成だ」と言えますか。

答え

(4) 根拠として適切なのは「何となく」と「調査結果」のどちらですか。

答え

(6) 引用した文と自分の文を区別する方法を書きましよう。

答え

資料と意見文 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 資料を根拠に意見を書く。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 賛成が反対より20人多い

数値を比べた事実です。

(2) 言えない

調査した人数や対象が全校とは限りません。

(3) 自分の立場や主張

何についてどう考えるかを示します。

(4) 調査結果

確かめられる情報が主張を支えます。

(5) 別の立場を踏まえて自分の考えを深められる

一面的な文章になるのを防ぎます。

(6) かぎかっこを使い、出典を示す

他者の言葉であることを明確にします。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

短歌・俳句と表現

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 表現技法から情景や心情を読む。

ポイント 比喩、擬人法、体言止め、倒置、季語などの働きを考えます。

(1) 「雲は白い船」の表現技法を書きましょう。

答え

(3) 「夕焼けの道、遠い家。」のように名詞で止める表現を何といいますか。

答え

(5) 「初雪や 足あと一つ 門の前」の季語を書きましょう。

答え

(2) 「風が窓をたたく」の表現技法を書きましょう。

答え

(4) 短歌の下の句は、基本的に何音・何音ですか。

答え

(6) 同じ作品でも読み手によって感じ方が違うのはなぜですか。

答え

短歌・俳句と表現 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 表現技法から情景や心情を読む。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 比喻(隠喩)

「ようだ」を使わず直接たとえています。

(2) 擬人法

風を人のように表しています。

(3) 体言止め

余韻や強い印象を生みます。

(4) 七音・七音

五・七・五の後に七・七が続きます。

(5) 初雪

冬の季語です。

(6) 経験や注目する言葉が違うから

作品の言葉を根拠に交流すると理解が深まります。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号: _____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

物語文の読み取り

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 描写から人物の価値観の変化を読む。

ポイント 象徴的な物や情景の変化にも注目します。

文章

音楽会を前に、紗季は舞台の中央にある古い譜面台を外したいと思っていた。黒い柱には細かな傷が多く、照明の下では目立ちそうだった。

用務員の佐野さんは、その譜面台を見て言った。「この傷は、先輩たちが何度も高さを直し、練習した跡なんだ。学校の音が重なっているようなものだね。」

紗季は放課後、譜面台を布で磨いた。傷は消えなかったが、表面のはこりが取れると、黒い色が静かに戻った。

本番の日、照明を受けた傷は、細い銀色の線のように光った。紗季は楽譜を置き、最初の音を待った。その線が、これまでの演奏と今日の演奏をつなぐ、音の一部に思えた。

(1) 紗季が古い譜面台を外したかった理由を書きましょう。

答え

(2) 用務員の佐野さんは、傷をどのように捉えていましたか。

答え

(3) 紗季が布で譜面台を磨いたことから分かる変化を書きましょう。

答え

(4) 本番で譜面台の傷はどのように見えましたか。

答え

(5) 最後の「音の一部」とはどういう意味ですか。

答え

(6) この物語の主題を一文で書きましょう。

答え

物語文の読み取り / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 描写から人物の価値観の変化を読む。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 傷が多く、舞台上で目立つと思ったから

見た目を気にしていました。

(2) 先輩たちが練習を重ねた跡

傷を学校の音の歴史として見えています。

(3) 古い物の価値を認め、大切にしようとした

外すのではなく手入れを選びました。

(4) 細い銀色の線のように光った

照明による見え方が描かれています。

(5) 先輩の努力も今の演奏につながっているということ

物そのものではなく、受け継がれた時間を表します。

(6) 例：古い物に刻まれた人々の努力を受け継ぐ大切さ。

紗季の価値観の変化をまとめます。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

説明・論説文の読み取り

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 主張と根拠を評価して要旨をまとめる。

ポイント 事実、例、筆者の判断を区別し、根拠が主張を支えているか考えます。

文章

図書館の役割は、本を貸すことだけではなく、情報を比べ、自分で判断する手助けをする役割もあります。

今は、同じ出来事について多くの情報を短時間で得られます。しかし、一つの情報だけで決めると、条件や立場の違いを見落とすことがあります。発行した人、書かれた日、示された根拠を確かめ、複数の資料を比べることが必要です。

図書館では、司書が目的に合う資料と調べ方の手がかりを示します。答えを一つに決めてもらうのではなく、利用者が自分で確かめるための支援です。情報が多い時代だからこそ、図書館は確かな判断の仕方を学ぶ場所にもなるのです。

(1) 筆者が述べる図書館の新しい役割を書きましょう。

答え

(2) 一つの情報だけで決める問題点を書きましょう。

答え

(3) 司書が示すものを二つ書きましょう。

答え

(4) 「だからこそ」が結び付ける内容を書きましょう。

答え

(5) 筆者の主張を書きましょう。

答え

(6) 本文の根拠は主張を支えていますか。理由も書きましょう。

答え

説明・論説文の読み取り / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 主張と根拠を評価して要旨をまとめる。

説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 情報を比べ、判断する手助けをすること

本を貸すことに加えた役割です。

(2) 条件や立場の違いを見落とすことがある

複数の資料を比べる必要があります。

(3) 資料と、調べ方の手がかり

答えそのものを一つに決めるものではありません。

(4) 情報が多いことと、比べ方を学ぶ必要

前の状況を理由として結論につなげています。

(5) 図書館は自分で確かな判断をするための場所にもなる。

最終段落の中心文です。

(6) 支えている。複数資料の比較や司書の支援が判断に役立つと説明しているから。

根拠と主張のつながりを評価します。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉

まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

漢字・熟語の使い分け

名前 _____

日付 ____ / ____

12問

めあて 文脈に合う漢字や熟語を正確に選ぶ。

ポイント 似た語は、何を対象にしているかまで確かめます。

(1) 計画を(かいぜん)する。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(3) 文化を次の世代へ(つた)える。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(5) 資料を集めて考えを(うらづ)ける。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(7) 「保障・保証」から、製品の品質を受け合う語を選びましょう。

答え

(9) 「対象・対照」から、調査する相手や物を表す語を選びましょう。

答え

(11) 「制作・製作」から、映画や文章を作る場合の語を選びましょう。

答え

(2) 機械を(かいりょう)する。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(4) 駅まで荷物を(はこ)ぶ。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(6) 二つの資料を(ひかく)する。かっこを漢字で書きましょう。

答え

(8) 「保障・保証」から、生活や権利を守る語を選びましょう。

答え

(10) 「対象・対照」から、比べ合わせることを表す語を選びましょう。

答え

(12) 「制作・製作」から、道具や機械を作る場合の語を選びましょう。

答え

漢字・熟語の使い分け / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 文脈に合う漢字や熟語を正確に選ぶ。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

- (1) 改善

問題点を直してよくする意味です。
- (2) 改良

物や仕組みを直して性能を高める意味です。

- (3) 伝える

知識や文化を受け渡す意味です。
- (4) 運ぶ

物を別の場所へ移す意味です。

- (5) 裏付ける

根拠を示して確かにする意味です。
- (6) 比較

違いや共通点を比べることです。

- (7) 保証

確かであると責任をもつ場合は「保証」です。
- (8) 保障

権利や安全を守る場合は「保障」です。

- (9) 対象

働きかけや調査が向かうものです。
- (10) 対照

二つの違いをはっきりさせる意味です。

- (11) 制作

芸術作品や番組などを作る場合に使います。
- (12) 製作

実的な物を作る場合に使います。

間違い直し
☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

引用と出典

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 必要な部分を正しく引用し、出典を示す。

ポイント 引用部分を自分の文と区別し、書名・著者・発行年などを示します。

(1) 引用した文を自分の文と区別するために使う記号を書きましょう。

答え

(3) 本から引用したときに示す出典情報を二つ書きましょう。

答え

(5) 引用文の後に、自分の考えを加えるときの書き方を一つ答えましょう。

答え

(2) 引用するとき、元の文章を勝手に書き換えてよいですか。

答え

(4) ウェブページを参考にしたとき、ページ名のほかに記録するとよいものは何ですか。

答え

(6) 出典を示す理由を一つ書きましょう。

答え

引用と出典 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 必要な部分を正しく引用し、出典を示す。

説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 「 」／かぎ括弧

短い引用はかぎ括弧で囲みます。

(2) いけない

引用は元の表現を正確に示します。

(3) 例：書名、著者名

発行年や出版社も手がかりになります。

(4) URLと閲覧日

内容の場所と確認した日を示せます。

(5) 例：「このことから、～と考える」と続ける。

引用と自分の考えの境目を明確にします。

(6) 例：情報の出どころを読み手が確かめられるようにするため。

根拠の信頼性を確認できるようにします。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉

まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

複数資料の比較

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 複数の資料から共通点と相違点を読み取る。

ポイント 条件・単位・調査方法をそろえて比べます。

文章

【一日の平均読書時間】(単位:分)

資料A 四年40 五年35 六年30(青空小学校・六月調査)

資料B 四年50 五年45 六年30(緑小学校・十月調査)

(1) 資料Aと資料Bに共通する傾向を書きましょう。

答え

(3) 資料Bの五年生と六年生の差は何分ですか。

答え

(5) 「六年生は必ず一日30分読む」と言い切れますか。理由も書きましょう。

答え

(2) 資料Aの五年生と六年生の差は何分ですか。

答え

(4) 二つの資料で四年生の値が異なる理由として考えられることを一つ書きましょう。

答え

(6) 資料を比較するとき最初に確かめる項目を一つ書きましょう。

答え

複数資料の比較 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 複数の資料から共通点と相違点を読み取る。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

(1) 学年が上がるほど読書時間が短くなる傾向がある。
どちらの資料でも六年生の値が低くなっています。

(2) 5分
35-30=5分です。

(3) 15分
45-30=15分です。

(4) 例:調査した学校や時期、人数が違う。
調査条件の違いに目を向けます。

(5) 言い切れない。平均値であり、個人差があるから。
平均だけでは全員の値は分かりません。

(6) 例:題名、単位、調査対象、調査時期
同じ条件で比べられるかを確認します。

間違い直し
☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉
まちがえた番号:_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

文章の推敲

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 目的と読み手に合わせて文章を直す。

ポイント 重複、曖昧な指示語、文のねじれ、表記を見直します。

(1) 「まず最初に、係を決めます。」の重複を直しましょう。

答え

(3) 「雨が降ったので、試合を行った。」を自然な文に直しましょう。

答え

(5) 「わたしの目標は、毎日練習します。」のねじれを直しましょう。

答え

(2) 「ぼくは私は図書委員です。」を直しましょう。

答え

(4) 「委員会で話し合った。それを変えた。」の「それ」を具体的に直しましょう。

答え

(6) 推敲するとき、声に出して読むよさを一つ書きましょう。

答え

文章の推敲 / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 目的と読み手に合わせて文章を直す。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

- (1) まず、係を決めます。／最初に、係を決めます。

「まず」と「最初に」は意味が重なります。
- (2) ぼくは図書委員です。／私は図書委員です。

一人称を一つにそろえます。

- (3) 雨が降ったので、試合を中止した。

原因と結果が自然につながるようにします。
- (4) 例：委員会で話し合い、当番の決め方を変えた。

指示語が何を指すか明確にします。

- (5) わたしの目標は、毎日練習することです。

主語「目標は」に合う述語にします。
- (6) 例：言葉の重なりや読みにくい文に気がしやすい。

文章のリズムやつながりを確かめられます。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉

まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。

要旨と論理の組み立て

名前 _____

日付 ____ / ____

6問

めあて 筆者の主張と、それを支える根拠を捉える。

ポイント 事実・例・理由が、どの主張を支えているか考えます。

文章

身近な生き物の変化は、一度観察しただけでは分かりにくいものです。季節や年によって、見られる種類や数が変わるからです。

同じ場所を同じ方法で記録し続けると、過去と比べられ、変化に早く気付けます。学校と地域の人が記録の方法をそろえれば、資料をまとめやすくなります。

ある町では、毎年の観察記録から水辺の虫が減ったことを知り、川辺の草を残す活動を始めました。身近な自然を守るには、地域の記録を続けて共有することが大切です。

(1) 筆者の最も伝えたい主張を書きましょう。

答え

(2) 第一段落で示されている問題は何ですか。

答え

(3) 記録を続けるよさを二つ書きましょう。

答え

(4) 学校と地域の人が同じ方法で記録するのはなぜですか。

答え

(5) 第三段落の具体例は、筆者のどの考えを支えていますか。

答え

(6) 本文の論理の流れを「問題・具体例・主張」の三語を使って書きましょう。

答え

要旨と論理の組み立て / 解答と考え方

名前 _____

日付 ____ / ____

答え合わせ

めあて 筆者の主張と、それを支える根拠を捉える。
説明問題は、同じ意味が書けていれば正解です。

- (1) 身近な自然を守るには、地域の記録を続けて共有することが大切だ。

最終段落に文章全体の主張があります。
- (2) 生き物の変化は一度の観察だけでは分かりにくいこと。

記録を続ける必要性につながる問題です。

- (3) 過去と比べられる／変化に早く気付ける

第二段落に二つの効果が示されています。
- (4) 資料を比べたりまとめたりしやすくするため。

条件をそろえると変化を確かめやすくなります。

- (5) 記録を共有すると、自然を守る行動につながれるという考え。

例と主張の関係を捉えます。
- (6) 問題を示し、記録の具体例を挙げて、最後に主張を述べている。

文章全体の組み立てを順序に沿ってまとめます。

間違い直し

☐ 漢字・語句 ☐ 文のつながり ☐ 本文の根拠 ☐ 自分の言葉

まちがえた番号：_____ 答えを閉じて、もう一度説明しましょう。